

西成区長タウンミーティング議事要旨 (鶴見橋中学校)

【日時】

平成25年2月19日(火) 午後7時～午後9時

【場所】

鶴見橋中学校 多目的室

【臣永区長あいさつ】

現在、大阪市政を取り巻く環境は、変化をしようとしている。そうした変化の中で何が一番大切かということ、区民、市民の皆様の意見が反映できる仕組みをつくることだと思う。皆様のご意見などをお伺いして、市役所、市長に届けるという役目を担っていると思うので、時間の許す限り、皆様のご意見をお伺いしようと思っている。できるだけ多くの方からご意見を承りたいので、絞ってお話をさせていただきたい。主役は区民、市民の皆様である。良いお知恵をお借りして、まちづくりに反映させていきたいと思っているので、積極的かつ建設的なご意見をいただけたらと思っている。

【区役所からの今後の区政方針について説明】

- ・ 西成区の現状を統計数字で説明。
- ・ 平成25年度予算要求
- ・ 平成25年度西成区運営方針(素案)
- ・ 西成区将来ビジョン(素案)
- ・ 西成特区構想
- ・ 行政区のブロックの区割り試案

【参加された皆さまからの主なご意見】

- ・ 住吉市民病院について、子育て世帯の呼び込み策の意味でも何としても残してほしい。7万筆ぐらいの署名が集まっている。市長に住民の声を届けるのが区長の責任だと言われたが、届ける場の説明会が開かれていない。区長は、この間、病院局と少人数であれば懇談してもいいとも回答されている。近日中にその懇談会を開いて欲しい。そして、大きな問題について説明会を開いていただきたい。答えを聞くまでは引き続きタウンミーティングに出なくてはならないと思っている。
- ・ 北津守地域の住民は、漠然とした不安を持っている。生活に必要なものがどんどんなくなることや災害に対する不安に対して、行政も真剣に声を聞いて、具体的なことを示して欲しい。

- ・ 今後、北津守小学校も小中一貫校に移行すると思うが、跡地利用の問題が出てくる。防災の拠点にすると色々なことができると思うので、お互いの意見を言える場を早急に持って欲しいと思う。
- ・ 大阪市の既存施設、休眠施設を何とかして欲しい。
- ・ 北津守地域の膨大な空き地について、関係局と20数年間話をしてきたが全然めどが立たない、行政の責任として、土地の有効活用についてきっちりと話し合える場を持って欲しいと思う。
- ・ 子どもや高齢者のことで西成区役所の担当と話しをするが、個人情報とかと言ってなかなか動いてくれない。行政が地域と連携したいと言っているのだから、職員としての責務と義務を果たす仕組みを作って欲しい。
- ・ 学校給食について、新聞では、全員喫食とするということで、区長が判断するという記事が載ってあった。また、同じく新聞報道で、橋下市長は、全員が給食を食べるのが原則ということを強調していた。この4月から一体、給食はどうなるのか。区長が、いつ、何を基準として判断したのかをお伺いしたい。
- ・ 学校選択制について、他区では学校選択をするという情報も入っているが、西成では、学校選択制はなしで新年度を迎えると捉えてもいいか。
- ・ 学校給食の問題について、安いから、あるいは面倒だからと給食をやるのは、いけないと思う。特別な事情がある方はやむを得ないと思うが、そうでなければ、親子のきずなの希薄さをつなぐ愛情弁当にすべきだと思う。
- ・ 木津川の水防について、ジェーン台風などで北津守の多くは水没したのに、区役所の資料には一文字も入っていないのは疑問に感じる。
- ・ 津守の処理場のところにある防潮堤について、地震があったときには上手く動かないと思う。
高潮が処理場に入ってきたらどうするのか。絶対見に行つて欲しい。
- ・ 公園愛護会をしている者だが、地域の人が忙しいので掃除する人がおらず困っている。生活保護を受けている高齢者から、「元気で、暇や暇や」という声をたびたび聞くので、ボランティアをして欲しい。ボランティアをしていることで、西成区の生活保護の方のイメージアップにもなると思う。生活保護の申請に来た人に、ボランティアもお願いしますと区役所から言って欲しい。
- ・ 生活保護の方のボランティアについて、社会福祉協議会でボランティアのマッチングをしていると聞いたが、区役所とは別でしているのか。それとも連携しているのか。
- ・ 防災について、長橋には、独居老人の方のアパートが密集している。災害が起きたときに真っ先に動く地域の間人が、災害が起きたときにどうしたらいいのか分からないので、具体的なやり方を親切丁寧に教えていただきたい。
- ・ 市民交流センターに、地域支援プラザ西成という施設がある。合言葉は、「病院へ行かずにプラザに行こう」と活力の源になっている。多くの高齢者の方が来られて、第二のスタートをされていると思うが、今後施設がどうなるのかと不安がっている高齢者

の方もおられるので教えて欲しい。

- ・ プラザ西成で、歌謡クラブや茶道部の活動をしている。老人施設や小学校を訪問して、地域活動や交流をしているので、ぜひともプラザ西成を残していただきたい。
- ・ 人権文化センターの分館が北津守にあるが、今、何も使わずにずっと空き家の状態である。北津守の防災拠点として分館を活用させてもらったらありがたい。
- ・ 小学校の統廃合の件について、今、南津守は人口が増えて教室が足りない状態で、津守と北津守は生徒が減っている。それならば、各校区の境界線を見直すことはできないのかと思う。
- ・ 小学校の統廃合について、南津守小学校は人口増で校舎が不足し、片や、津守小学校は廃校になると言われている。廃校や校舎増築をするのではなく、古い市バスをスクールバスにして、南津守小学校の児童に北津守小学校の校舎を使ってもらってはどうかと思う。
- ・ まちづくりの中で一番大事なものは、災害に強いまちづくりが一番だと思う。神戸の大震災の時に役に立ったのがジャッキと聞いた。西成区で、ジャッキを使いなれている方を登録したらどうか。

【区役所からの発言】

- ・ 皆様が漠然とした不安を抱えているとご意見をいただいたが、西成区では地域福祉を進めていこうと平成16年から地域福祉アクションプランを行っている。区民フォーラムで皆様のご意見をお伺する場もつくっている。地域のつながり作りのため、今後ともアクションプランに参加、ご協力いただきたいと思う。
- ・ 小中一貫校については、現在、教育委員会の方針は、今後、大阪市内に6、7つ程度造っていく予定となっている。一方で、小規模校のため複式の授業を行うことが必要な場合も、一貫校では検討をされている。今後、小規模校による一貫校の課題が生じたら、地域の皆様や保護者の皆様と色々意見交換しながら進めることになっている。
- ・ 既存の施設や休眠施設については、今までは各局が決めていた。しかし、今後は、区長も考えていくことになっているので、皆様と区も交えて考えていきたいと思う。
- ・ 子どもの問題などについて、区役所の人間がなかなか動かないとご意見いただいた。個人情報等の壁は確かにあるが、子どもに関しては、各中学校下に、教育ケース会議があり、行政機関や支援団体が集まって毎月会議をしている。会議には、民生委員や町会の役員なども出席しているので、どんどんご意見いただき反映していければと思う。皆様から色々いただく相談については、担当だけでなく各課長も対応を確認している。
- ・ 中学校給食について、保護者の皆様やPTAの皆様と連携が良くなかった点について、まずお詫びさせていただきたいと思う。喫食率は3割程度。教育委員会のアンケート結果は、子どもは弁当が良い、親は給食が良いと真逆の流れがある。25年度以降について、市長の方針は全員喫食だが、学校の先生方と意見交換すると色々な問題がある

ということなので、25年度については、弁当と給食の選択をする方法を継続し、26年度以降に1学年ずつ実施することを考えたいと思っている。今後、色々な機会でご相談させていただきたいと思う。

- ・ 学校選択制について、昨年4月の学校教育フォーラムでは反対意見が多かった。しかし、大多数の意見かどうか図りかねるので、今後、学校選択制でいくのか、あるいは指定外就学の緩和策でいくのか、また、小中一貫校の開設や小規模校の問題も見きわめながら皆様と相談して慎重に考えていきたい。
- ・ 生活保護受給者のボランティアについて、数年前から地域と連携して進めており、地域の女性会と定期清掃を行っている成功例もある。しかし、ボランティアをしたい方と需要とのマッチングが難しく、地域の方の感情を逆なでするような形になるのも問題である。引き続き、地域や社会福祉協議会に働きかけていきたいと思う。
- ・ 独居の生活保護受給者について、西成区挙げての地域福祉アクションプラン推進の中で、地域とのつながりづくりをどうしようかと、数年来、話し合いを進めている。地域と区役所と社会福祉協議会が協力してやっている。
- ・ 密集地帯に住んでいる独居老人の災害時の対応について、西成区では、緊急時避難の要援護者登録を進めている。登録時には、ご本人から登録する旨の申出と、登録情報を関係機関で共有する同意書をいただいている。現在、3,500件ぐらいの方が登録しているが、市のデータでは、西成区には、身体障害3級以上の方、あるいは要介護度の重い方が1万人以上いるということで、この1万人以上の方と3,500人の違いを把握するために、25年度に一人一人家庭訪問して状態を確認することを予定している。もし要援護者登録していない方がおられたら、声をかけていただきたいと思う。
- ・ 高齢者に対する災害の具体的な対策については、区役所及び消防署が、各地域に出向き、訓練、研修会、勉強会、出前講座等を実施している。その中で、行政の情報を提供したり、皆様から様々なご意見をいただいたりして、区の防災行政に反映している。現在、大阪市と府の危機管理の担当が、大阪市内の被害想定を検証中である。この3月末頃には詳細が出ると思っているが、それが出るまでもなく、訓練、勉強会、研修会を実施していきたいと思っている。西成区には、福祉事業者が多くおられるので、この方々と連携をとりながら協力してやっていきたいと思っている。
- ・ 人権文化センター分館を防災の拠点にということについては、関係部局が多いため難しいと思うが、今後も考えていく課題と思っている。
- ・ 校区の境界については、様々な思いを持っている方々がおられるので、難しい課題だが考えていきたいと思う。
- ・ スクールバスの利用については、思いつかなかった話である。教育委員会に相談して考えていきたいと思う。
- ・ ジャッキの件については、貴重なご意見としてお伺させていただく。

【区長からの発言】

- ・ 住吉市民病院については、統合した病院がどんなものになるのかをきっちりと説明しなければ、理解していただけないと思っている。市長からも、何度も、現場の区長が区民の皆様のご意見をよく聞き自分に伝えなさいと言われていた。ただし、市民病院の件については、区長に決定権はないとはっきりと言明している。ただし、伝えるのは私たちの役目なので、きっちりと皆様のお話を聞いていかなければならないと思っている。
- ・ 皆様の不安や要望は多岐にわたるので、全部説明会を開いていくことは物理的に難しい。西成区としては、タウンミーティングを開催して、6回終了後、もう一度きっちりと説明をしていく機会を持ちたいと思っている。他にも様々なご意見があると思うので、できたら次回以降については、ご理解いただけたらと思う。
- ・ 将来への漠然とした不安感や、災害に対する目の前の不安感などがあると思う。そうした地域の皆様の生の声をお伺いするために今回、タウンミーティングを開催した。今後は、規模の小さい車座になってお話を伺う機会も考えていきたいと思う。
- ・ 休眠施設については、見て回ったが、このまま放置しておくのは良くないと思っている。現在、スーパーなどに声をかけている。色々な活用を含めて考えていかなければならないと思っているが、建物を除却する費用が非常にかかるので困っている。現在、知恵を絞って良い方法を考えている。一例として、建物を除却する必要ない消防のレスキューの訓練所を考えている。引き続き、地域の皆様からの積極的なご提案もいただきながら考えていきたい。
- ・ 中学校給食については、区長会で話をしており、業者からは、アレルギー対策が十分にできないと返事があったので、慎重に進めていかなければならないとなっている。もちろん大阪市の方針として全員喫食をできるだけ早い機会に目指していかなければならないが、急に全員実施ということは難しいと思う。まずは区民の皆様のご意見を聞いて、あるべき方向性を考えていきたいと思っている。
- ・ 学校選択制について、市長の考えは、選択できることを保障しておく必要があるということである。一方、地域と学校の強いつながりや、小中一貫校、少子化の中で学校の統廃合の課題などもあるので、諸般の事情も十分考えながら、保護者の皆様のご意見、あるいは地域の皆様方ご意見を十分お伺いしながら、あるべき方向を決めていきたいと思う。
- ・ 防潮堤については、もっと現場を知らなければと思い、来週、処理場とその周辺の視察に行く予定である。
- ・ 西成プラザの利用や活動について、具体的なお話を聞かせていただいた。市民交流センターについては、指定管理が終了する平成26年3月31日をもって廃止されることが大阪市の方針となっている。既存施設の今後については、現在の利用状況や将来の状況、あるいは、財政状況など、様々な観点から検討していきたいと思う。また、検討する過程では、住民の方の声をお伺いしながら検討していく。